

# こころのマップ

## 活用ガイド



# もくじ

1 「こころのマップ」で目指す授業 .....	1
2 「こころのマップ」を使った授業のイメージ .....	2
3 「こころのマップ」を活用した授業の流れ .....	3
4 「こころのマップ」～基本型～.....	4～5
5 「こころのマップ」～実態に応じた活用～.....	6～7



# 1. 「こころのマップ」で目指す授業

「こころのマップ」は、小・中学校を通して、児童生徒の実態に応じて活用し、次のような授業を目指します。



## ★対話を重視した道徳科の授業へ

「こころのマップ」を活用することで、授業の中に、一人でじっくり考えるところ（自己内対話）と、他の児童生徒などと対話をするところ（他者との対話）が位置付きます。それによって、児童生徒は、他者の考えに目を向けることができます。そして、多様な感じ方や考え方を比較・検討し、自分の考えを広げ深めながら道徳的価値を追求することができます。このように、「こころのマップ」を活用することで、これまでの道徳の授業で陥りがちであった、「読み取り道徳」や「押し付け道徳」から、「考え、議論する道徳」の授業につながります。

## ★道徳科の「見方・考え方」を働かせて学習する授業へ

道徳科における「見方・考え方」とは、「様々な事象を、道徳的諸価値の理解を基に自己との関わりで（中：広い視野から）多面的・多角的に捉え、自己の（中：人間としての）生き方について考えること」です。「こころのマップ」を活用して対話を重視した授業をすることで、この「見方・考え方」を働かせながら、よりよい生き方への考えを深めていく授業を目指します。

## ★思考の道筋が見える授業へ

「こころのマップ」には、導入、展開、終末の各段階において、対話を通して感じ、考えたこと（共感、新たな気づき、疑問）などを書いていきます。それが道筋となって、「こころのマップ」に地図のように表されていきます。その思考の道筋を見返すことで、児童生徒は自分の思考の広がりや深まりを振り返ることができ、より深い学びになります。

これらの授業を目指して、「こころのマップ」を活用していきます。その際、教師は、児童生徒に考えさせたいことを明確にするということを強く意識することができます。



## 2. 「こころのマップ」を使った授業のイメージ

「自己内対話」と「他者との対話」を通して、よりよい生き方を考えていきます。



こころのマップ

よりよい生き方を考える

納得解



新たな気付き

なるほどね  
それもあるね



多面的・  
多角的に  
考える

多様な感じ方や考え方を

比較・検討し、

自分の考えを広げ深める



共感

そうだね  
おなじだね



疑問

どうして？  
そうかな？



自己との  
関わりで  
考える

他者との対話



自己内対話

考えさせたいことを明確にする

道徳科の「見方・考え方」を働かせる

思考の道筋が見える

「こころのマップ」を  
活用した授業

対話を重視する

「活用ガイド」

小・中学校を通して、児童生徒の実態に応じた「こころのマップ」の活用

# 3. 「こころのマップ」を活用した授業の流れ



A・B・C・Dの4つのステップで考えたことを、次のように書いていきます。

★指導上の留意点

最初に  
考えよう  
**A**

## 道徳的価値について想起し、自分の考えを書く

- ★自分との関わりで捉え、問題意識をもてるようにする。
- ★本時で追求していく道徳的価値を確認する。(右下の宝箱のところ)

自分で  
考えよう  
**B**

## 中心発問に対する自分の考えを書く

- ★児童生徒に考えさせたいことを明確にし、多様な感じ方や考え方を引き出すことができる中心発問をする。

友達の考えを  
よく聞いて  
さらに考えよう  
**C**

## 他者との対話を通して 自分の考えを広げ深める

- ★多様な感じ方や考え方を比較・検討できるように、児童生徒の実態に応じて対話の方法を工夫する。

ここがポイント!

### “点線もこもこ”

他者と対話しながら、  
心が動いた考えを書く

### “実線もこもこ”

“点線もこもこ”を  
書いた後に、  
自分の考えを  
整理して書く

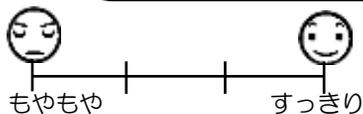
### フリースペース

“実線もこもこ”に書かれたことを  
共有しながら、  
新たに気付いたことや  
更に考えたことを書く

今日の  
学びを  
振り返ろう  
**D**

## 深まった道徳的価値の理解を基に、これまでの自己を振り返り、これからの生き方を考えて書く

- ★「こころのマップ」を見返して、思考の道筋を振り返るようにする。
- ★自分の生き方への思いや願いがもてる振り返りができるようにする。



本時で追求したい道徳的価値



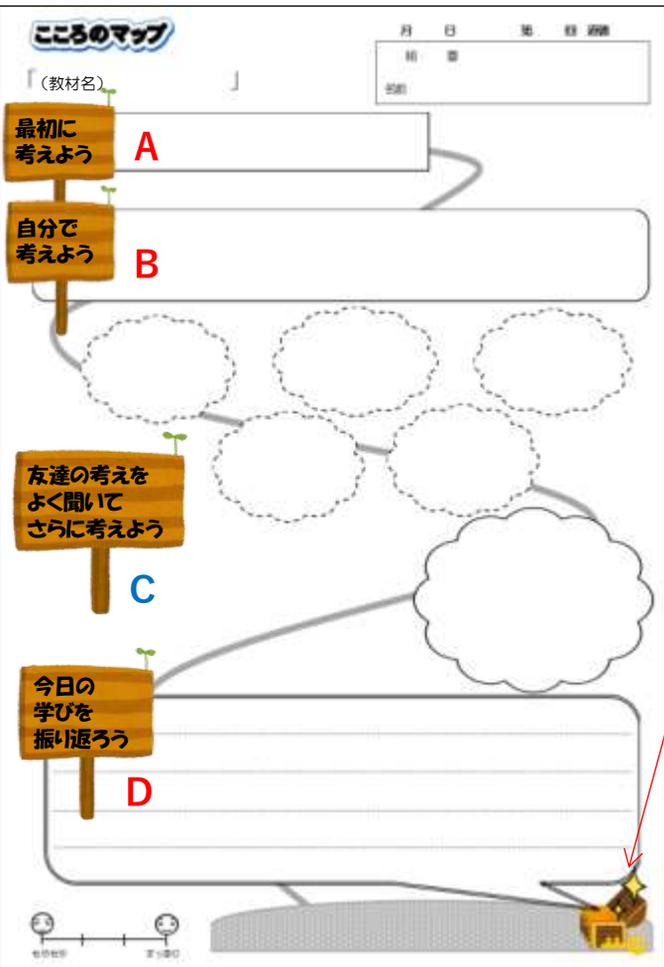
Dを書いた後、授業終了時の気持ちを表す (すっきり=納得解が得られた、しっかり考えられた実感)  
★マップの記述や授業中の様子と合わせてその理由を見取り、児童生徒への励ましや、次の授業に生かしていく。

# 4. 「こころのマップ」～基本型～

こころのマップ(基本型) ※A・B・Dは、全ての「こころのマップ」に共通です。



2～3ページと併せてご覧ください。



## A「最初に考えよう」には

- 本時で扱う道徳的価値を想起し、自分の考えを書きます。



枠の中に、あらかじめ選択肢等を記入しておく工夫もできます。

- 例1：分かっているにもかかわらず実践できない道徳的行為を想起し、価値への方向付けをする。

(T：〇〇のとき、相手に「□□」と言えますか?)

言える ・ 言えない

- 例2：これまでの道徳的価値の捉え方を想起し、本当の意味や意義への問いをもたせる。

(T：空欄にはどんな言葉が入ると思いますか?)

規則を守るのは( )のため

- 「こころのマップ」の最後にある宝箱に目を向け、本時で追求したい道徳的価値を確認します。



ここでは、あらかじめ教師が記入しておくこともできます。また、児童生徒と一緒に考えて書くこともできます。

## B「自分で考えよう」には

- 中心発問に対する自分の考えを書きます。
- 枠の上(あるいは枠の中)に、あらかじめ中心発問を記入しておきます。



Cで多様な考え方や感じ方に出会い、道徳的価値について、多面的・多角的に考えられるようにすることを意識した中心発問にします。

## D「今日の学びを振り返ろう」には

- 学習を通して考えたことや分かったこと、これからへの思いや願いなどを書きます。
- 振り返りを書く前に、Aで考えたことに立ち返ること、「こころのマップ」を見返すことで、自分の考えの広がりや深まり(=深まった道徳的価値の理解)に気付けるようになります。
- それを基に、これまでの自分はどうか、これから、どのように自分の生活に生かすか(=思いや願い)という視点をもって書くようにします。



教師も、AとDの記述を見比べることで、児童生徒の道徳的価値に対する考えの深まりが捉えやすくなります。

★「縦書き用」と「横書き用」の2種類があります。

## C “点線もこもこ”には

他者との対話をしながら、

**共感** 「同じだね」「そうだよね」など

**新たな気付き** 「なるほどね」

「それもあるね」

「自分の考えに取り入れたいな」

「その考えの方がいいな」

「…ということは、～かな」など

**疑問** 「どうして?」「そうかな?」など

他者の考えに触れて得られた、

新たな感じ方や考え方を書きます。

心が動いた**他者の考え**や、  
対話の中で**自分が考えたこと**



考えを「広げる」ことを意識します。

## C “実線もこもこ”には

他者との対話で

“点線もこもこ”を書いた後に、

・「いろいろな考えに出会った今、もう一度  
中心発問について考えてみよう」

・「いろいろな考えに出会いましたが、  
自分が大切にしたい考えはどれですか」  
など、教師の発問を受けて、

他者との対話を、自分の中で整理して  
(自分の考えを再構築して)考えたことを  
書きます。

他者との対話を踏まえて  
**自分が考えたこと**



考えを「深める」ことを意識します。

ここで、自己内対話を設けることが大切です。

## C “フリースペース”には

他者との対話をしながら、

新たな気付きや、

更に考えたことを書きます。

心が動いた**他者の考え**や、  
対話の中で**自分が考えたこと**

- ・学級全体で対話しながら、“実線もこもこ”に書かれたことを共有し、価値への理解を深めたり、自己を振り返ったりする場面で活用します。
- ・他者との対話をしながら書くので、“点線もこもこ”に書くことと似ていますが、無理なく、自由に使うことができるようにするために、ここには“もこもこ”を配置していません。
- ・必要に応じて問い返しを取り入れるなどし、個々の気付きや思考の深まりを引き出し、児童生徒と共に整理していきます。



## “点線もこもこ”の使い方のポイント

「他者との対話」を大切にするために

- ★「自分の考えを広げたり深めたりするための対話である」という目的を伝えます。
- ★全部の“もこもこ”に書く必要はありません。
- ★出会った考えの全てを書き残そうとする必要はありません。「書き残しておきたい」と思ったことを書きます。
- ★短い言葉で簡潔に書きます。
- ★他者の書いたものを見て、ただ書き写すということがないようにします。
- ★グループで対話する場合は、一つの考えに決める話し合いにならないようにします。

“もこもこ”の数や大きさは、  
児童生徒の実態に応じて工夫していきます。



# 5. 「こころのマップ」～実態に応じた活用～

「基本型」を使うのは難しいな...と思う場合は、次の「こころのマップ」を活用しましょう。



書くことが負担にならないように、“もこもこ”の数や大きさなどを変えています。他者との対話を通して、自分の考えを広げ深める思考の道筋は変わりません。

## 対話しながら書くことが難しい場合

### C “もこもこ”には

伝え合いをする中で、「その考え、いいなあ」「自分の考えに付け足したいなあ」など心が動いた考えを書きます。

### 対話の例

- ①鉛筆を持たずに、自由に立ち歩いてペアを作り、Bに書いた考えを伝え合います。
- ②相手の考えを聴いて、自分の考えと比べ、「同じだね（共感）」「それもあるね（新たな気づき）」「どうして？（疑問）」など、三つの観点に沿った言葉を伝えます。  
※三つの観点に沿った言葉は、次ページを参考にしてください。
- ③“もこもこ”に書きたい考えに出会ったら、席に戻って書きます。



話す場所と書く場所を分けることで、お互いの考えを見せ合って書き写すことなく、対話することができます。

〈使用学年例〉ある程度まとまった文章が書けるようになった、小学校2・3年生 など

### 実態に応じた使い方の例

「基本型」のように“点線もこもこ”と“実線もこもこ”を分けず、二つを合わせた枠にしています。また、“フリースペース”も設けていません。しかし、上記の対話の例に加え、以下のような使い方もできます。児童生徒の実態に合わせて、柔軟に活用してください。



- ・“実線もこもこ”のように、対話をした後に書く時間を設けて自己内対話を促す。
- ・“フリースペース”のように、全体で対話をしながら書くように促す。

★「縦書き用」と「横書き用」の2種類があります。



2～3ページと併せてご覧ください。

4ページにある、A・B・Dは、全ての「こころのマップ」に共通です。

## 文をたくさん書くことが難しい場合

**こころのマップ**

月 日 曜日 かい どうとく  
 名刺文

**A**

**B**

**C**

「おなじだね」 「それもあるね」 「どうして？」

**D**

こころのマップのA、B、Dは、全ての「こころのマップ」に共通です。Cは、対話をした相手の名前を書き残されています。

### C “もこもこ”には

伝え合いをした相手の名前を書きます。

### 対話の例

三つの観点で聴き合い、  
自分の考えと相手の考えを比べます。

- 共感** 「おなじだね」「にているね」など  
**新たな気付き** 「それもあるね」  
 「なるほど」「そうだね」など  
**疑問** 「どうして?」「そうかな?」など



“もこもこ”の中の言葉は、児童に分かりやすい言葉に変えて使うこともできます。

- ①ペアで、Bに書いた考えを伝え合います。
- ②相手の考えを聴いて、自分の考えと比べ、どの“もこもこ”に当てはまるかを考えます。
- ③その“もこもこ”にある言葉を参考にして、相手に「同じだね」「それもあるね」「どうして?」などと伝えます。
- ④その“もこもこ”の中に、相手の名前を書きます。

〈使用学年例〉文字が書けるようになった小学校1年生など

### Cに書かれた名前から…

この「こころのマップ」のCには、対話をした相手の名前しか書き残されませんが、“もこもこ”の中に書かれた名前の児童の「こころのマップ」を見ることで、どんな考えに出会って考えを広げ、深めていったのかを知ることができます。



★「縦書き用」と「横書き用」の2種類があります。

組 番

名前

最初に  
考えよう

自分で  
考えよう

友達の考えを  
よく聞いて  
さらに考えよう

今日の学びを  
振り返ろう



もやもや



すっきり



名前

最初に  
考えよう

自分で  
考えよう

# こころのマップ

友達の考えを  
よく聞いて  
さらに考えよう

今日の学びを  
振り返ろう

すっきり  
ちやちや



「 」

名前

さいしょに  
考えよう

Blank writing area for the first step.

じぶんで  
考えよう

Blank writing area for the second step, featuring a dashed line for handwriting practice.

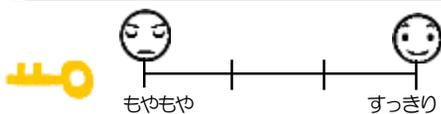
ともだちの考えを  
よくきいて  
さらに考えよう

Cloud-shaped writing area for listening to others' thoughts.

Cloud-shaped writing area for further reflection.

今日の学びを  
ふりかえろう

Large rounded rectangular writing area for reflecting on today's learning.



名前

さいしよに  
考えよう

Blank writing box for 'さいしよに考えよう'

しぶんで  
考えよう

Blank writing box for 'しぶんで考えよう'

# こころのマップ

どもだちの考えを  
よくきいて  
せうに考えよう

Cloud-shaped writing area with horizontal lines for 'どもだちの考えをよくきいてせうに考えよう'

Cloud-shaped writing area with horizontal lines for 'どもだちの考えをよくきいてせうに考えよう'

すっきり  
ちやちや



今日の学びを  
ふいかえろう

Blank writing box for '今日の学びをふいかえろう' with a dashed line for a separator



# こころのマップ

「 」

なまえ

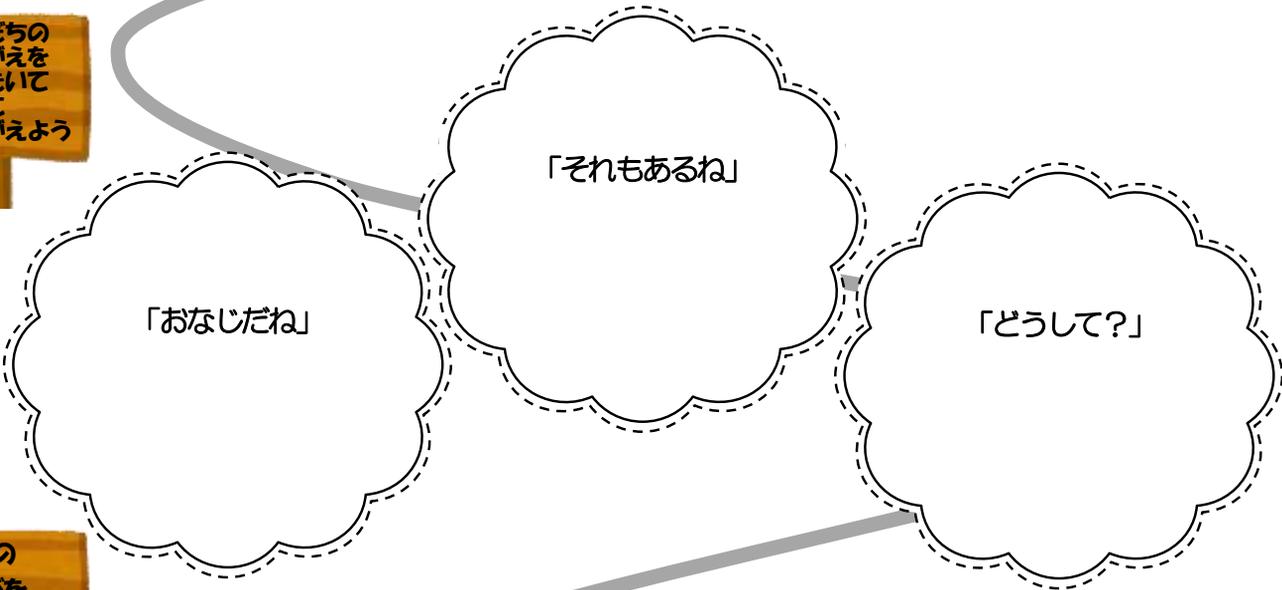
さいしょに  
かんがえよう

Blank writing box for the first step.

じぶんで  
かんがえよう

Large writing box with dashed lines for the second step.

ともだちの  
かんがえを  
よくきいて  
さらに  
かんがえよう



きょうの  
まなびを  
ふいかえろう

Large writing box with dashed lines for the final step.



もやもや



すっきり



名前

さいしよに  
かながえよう

Blank rectangular box for writing.

じぶんで  
かながえよう

Large rounded rectangular box with a dashed horizontal line for writing.

# こころのマップ

「おなじだね」

どちちの  
かながえを  
よくみて  
ぶんに  
かながえよう

「それもあまるね」

「どうして？」

きょうのまはびを  
ふいかえろう

Large rounded rectangular box with a dashed horizontal line for writing.

